

80期 8月 重大事故 1件

作成日：2024年9月9日

安全品質環境推進部 統括グループ

再発防止対策欄/青地・・・対策完了 赤字・・・対策予定、継続中

区分	事故受付地	事故発生日	発生日間		地区名	営業所名	氏名	職種	年齢	勤続	損害程度 ・品名	休業見込 (実休業)	荷主・相手方		事故内容	
			月	日									名称	本・支店、工場		
重大	J8000148	2024.08.02	金	午前 09:40	西関東			乗務	55	11年3ヶ月	左手首裂傷離断	60日			労災	乗務員が、施工現場において鋼製間仕切を職人と2人荷台から右側運転手・左側職人で5本1束を3束ずつ鋼製間仕切りを持ち上げ移動し荷台下に渡す際、持っていた運転手側下段のPPバンドが突然切れたことで下段束が広がり乗務員側へ傾き崩れ、乗務員の左手首に鋼製間仕切が接触し裂傷に至った。
	確認日	2024/9/3	火	確認済 (安全)			発生要因	<ul style="list-style-type: none"> ■ アームカバーを手首まで下ろしていなかった。 ■ 荷台から荷上げ作業へ遷す場所がせまく昇降ステップに足をかけて作業していたため商品が斜めになる状態が起きていた。 ■ あおりにチェーンを巻いて水平な場所を確保していなかった。 ■ 商品を持つ前に、鋼製間仕切スタッドを兼ねるPPバンドが一部切れていけことに気づいていなかった。 					再発防止対策	<ul style="list-style-type: none"> ■ 鋼製間仕切スタッドを吊り下げる場合には長袖またはアームカバー(手首まで届く)、ゴム手袋を装着し肌の露出がないようにする。 ■ あおりにチェーンにて固定し足元に水平な場所を確保するなど作業手順を再教育し徹底させる。 ■ 昇降ステップを使った昇降し作業を禁止する。 ■ 鋼製間仕切スタッドを吊り下げる前に、PPバンドに切れやはずれがないか目視確認を行う。 		